

石川工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	建築生産 I I
科目基礎情報					
科目番号	20540		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	建築学科		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	教科書: 現場技術者が教える「施工」の本<仕上編>				
担当教員	秦 明日香				
到達目標					
1. 仕上工事の方法と管理のポイントを理解し, 説明できる。 2. 機能材料の施工方法と管理のポイントを理解し, 説明できる。 3. 建築生産における材料の再利用, 環境保全のための方策を理解し, 説明できる。 4. 建築生産における契約を理解し, 説明できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
到達目標項目1	仕上工事の方法と管理のポイントを理解し, 説明できる。		仕上工事の方法と管理のポイントを理解できる。		仕上工事の方法と管理のポイントを理解できない。
到達目標項目2	機能材料の施工方法と管理のポイントを理解し, 説明できる。		機能材料の施工方法と管理のポイントを理解できる。		機能材料の施工方法と管理のポイントを理解できない。
到達目標項目3	建築生産における材料の再利用, 環境保全のための方策を理解し, 説明できる。		建築生産における材料の再利用, 環境保全のための方策を理解できる。		建築生産における材料の再利用, 環境保全のための方策を理解できない。
到達目標項目4	建築生産における契約を理解し, 説明できる。		建築生産における契約を理解できる。		建築生産における契約を理解できない。
学科の到達目標項目との関係					
本科学習目標 1 本科学習目標 2 本科学習目標 3 創造工学プログラム B1専門(建築学)					
教育方法等					
概要	本科目では、「建築生産」の総体を理解するとともに、その中で主要な部分である「建築施工」を学習する。建築施工は、建築計画・意匠・構造・設備・法規などの建築知識と、施工管理技術を駆使し、発注者ニーズに応え、生命と財産を守る建造物を提供するという社会的な使命を持っている。そのために必要な、建築技術者としての専門的知識と心構え、問題の発見と解決過程について学習する。				
授業の進め方・方法	【MCC】V-G-5 施工、法規 「事前事後学習」見学実習など可能な限り実施し、その際はレポートを提出させる。 「関連科目」構造力学、建築材料Ⅰ、建築材料Ⅱ、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造				
注意点	躯体工事については教科書を指定、講義ではVTR、写真等の実例を多く示し理解を助ける。また、必要に応じてカタログ・サンプルの確認も行う。 建物の品質を最終的に決定するのは施工である、との認識を持ってこの科目を勉強してもらいたい。また、常日頃から建物や建築現場を漫然と見るのではなく、問題意識を持って見る癖を身に付けること。 「評価方法」 中間試験、期末試験とレポート・小課題によって成績を評価する。成績の評価基準として60点以上を合格とする。 中間試験 (30%)、期末試験 (30%)、レポート・小課題 (40%)				
テスト					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
前期	1stQ	週	授業内容	週ごとの到達目標	
		1週	概論「仕上げ工事とは」	仕上げ工事の概要を理解し, 説明できる。	
		2週	タイル工事	タイル工事を理解し, 説明できる。	
		3週	石工事	石工事を理解し, 説明できる。	
		4週	左官工事	左官工事を理解し, 説明できる。	
		5週	塗装工事	塗装工事を理解し, 説明できる。	
		6週	金属工事	金属工事を理解し, 説明できる。	
		7週	ガラス工事	ガラス工事を理解し, 説明できる。	
	8週	メタルカーテンウォール工事	メタルカーテンウォール工事を理解し, 説明できる。		
	2ndQ	9週	P Cカーテンウォール工事	P Cカーテンウォール工事を理解し, 説明できる。	
		10週	防水工事	防水工事を理解し, 説明できる。	
		11週	シーリング工事	シーリング工事を理解し, 説明できる。	
		12週	その他の仕上げ工事	その他の仕上げ工事を理解し, 説明できる。	
		13週	建築工事を取り巻く状況	建築工事を取り巻く状況を理解し, 説明できる。	
		14週	建築工事と環境保全	建築工事と環境保全を理解し, 説明できる。	
		15週	復習		
16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	試験	レポート	課題	合計	
総合評価割合	60	30	10	100	

基礎的能力	0	0	0	0
專門的能力	60	30	10	100
分野横断的能力	0	0	0	0